



『新宿力』で創造する
やすらぎとにぎわいのまち新宿

令和5年第1回区議会定例会
新宿区長定例記者会見資料
令和5年2月13日

事業名	一人暮らし高齢者等への助成(緊急通報システム)、 在宅重度心身障害者への助成(緊急通報システム)	予算(案)の概要 57.61 ページ
予算額	令和5年度予算額 23,258 千円 (前年度予算額 15,897 千円)	(拡充)
取材先	福祉部高齢者支援課長 中野 (電話 03-5273-4598) 福祉部障害者福祉課長 稲川 (電話 03-5273-4513)	

ICTの活用による緊急通報システム見守り体制の拡充

緊急通報システムにより、高齢者または重度心身障害者及び難病患者の生活の安全を確保しています。
これまでの無線発報機等に加えて、新たに、生活リズムセンサー(ドア開閉センサー)を導入します。

● 緊急通報システム事業拡充内容

区では、現在、高齢者または重度心身障害者及び難病患者の見守りとして、緊急時に無線発報機等のボタンを押すことで、委託する警備会社の警備員が自宅へかけつける「緊急通報システム事業」を実施しています。

現在設置している無線発報機やペンダント型ボタン、火災警報器に加えて、令和5年4月1日から生活リズムセンサー(ドア開閉センサー)を設置することにより、センサーが高齢者等の動きを一定時間感知しなかった場合に、自動で発報し、警備員が自宅にかけつける安否確認を行います。

【現在】

- ・無線発報機
- ・ペンダント型ボタン
- ・火災報知器



無線発報機

【令和5年4月から】

- ・無線発報機
- ・ペンダント型ボタン
- ・火災報知器
- ・生活リズムセンサー
(ドア開閉センサー)

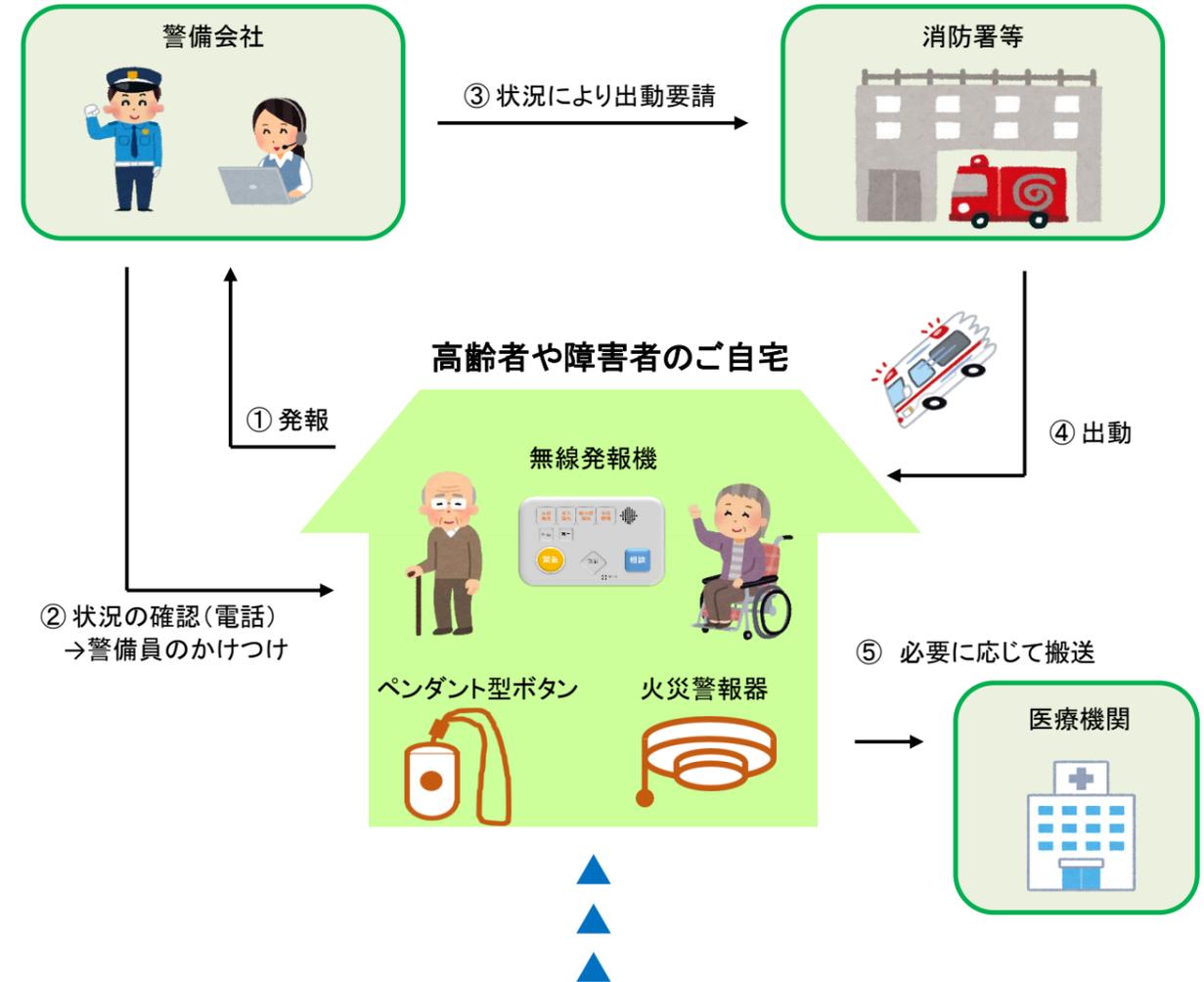


ペンダント型ボタン



火災警報器

● 緊急通報システムの流れ



生活リズムセンサーの追加設置



生活リズムセンサー(ドア開閉センサー)とは、トイレなどのドアにセンサーを設置し、一定時間ドアが開閉されなければ異常と判断して、自動的に発報される仕組み。

● 緊急通報システムの実績(各年度末現在)

		令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
高齢者	設置台数	546台	508台	525台	503台
	発報数	131件	150件	191件	222件
障害者	設置台数	18台	18台	18台	18台
	発報数	12件	4件	11件	19件